富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
住所：富良野市弥生町1番1号
電話：0167-39-2320
FAX：0167-23-3528
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員会の活動

教育委員の皆様より寄稿文をいただきました。

「予測のつかない未来」に必要な力

「自己肯定感」を育むために大事なものは、「成功体験の積み重ね」だと言われますが、実は、そうではなく、大事なものは「気持ちを受け止められた経験の積み重ね」です。

「できた！」あるいは「(頑張ったが)できなかった…」という時に、そばにいる人が「できてよかった！」と一緒に喜び合えること、あるいは「分かって努力したのが一番！」と評価すること。そういう「気持ちを受け止められた経験の積み重ね」が重要。大人が分かってくれるという信頼感、そこから他者に対する共感なり思いやりが育ちます。

また、「コミュ力が高い」と言われているのは、単に「誰とでもすぐに仲良くなれること」、「明るく元気に話すこと」等、のように思われていますが、そうではなく、「物事がもめた時に、複数人で協力して、なんとかできる能力があること」です。

閑話休題、「人工知能進展と格差拡大」がセットの時代がやってきます。つまり「予測のつかない未来」ですが、この予測不能な未来をどうやって子どもたちは生き抜くのか、そのとき必要なことは何か。

①社会との幅広い連携・協働のもとで、豊かな社会体験を得ることと、ともに、②他者との豊かな言語活動を通して、自分の置かれた状況を認識し、論理的に他者に説明し、共感的に社会をつくっていく論理の力が、ものを言います。

文責 教育委員 宮本 鎮栄

「令和6年度を振り返って」

まもなく令和6年度も締め括り、卒業式シーズンを迎えています。昨年の今頃、私の母校でもある富良野小学校の卒業式に出席させていただきました。コロナ以降、なかなか従来通りの卒業式ができなかった中、市内で一番人数の多い富良野小学校は2019年以来の在校生全員が参加しての卒業式でした。式前に校長先生からも伺っていましたが、卒業生入場の際の全校生徒の生の拍手…会場に響く拍手の音に感動しました。大袈裟かもしれませんが、今まで生きてきて聞いてきた拍手の中でも一番と言えるような、そんな拍手の響きでした。コロナ禍の数年、当たり前が当たり前ではなくなってしまった…卒業式は決して卒業生だけのものではなく、在校生にとっても卒業生への感謝はもちろん、次は自分達が上に立つ決意をする場としても大事な場面だと私は思います。

昨年の今頃、富良野小学校入学以来、はじめて卒業式に出られた当時の5年生もまもなく卒業を迎えます。市内全ての卒業を迎える皆さんの今後の活躍をお祈りしています。思い出に残る、素敵な卒業式となるよう願っています。

文責 教育委員 木村 譲

「2024年（令和6年）を振り返る」

2024年は、私にとって大きな挑戦と成長の年となりました。63歳にして、挑戦を恐れず、新たな一歩を踏み出した年でもありました。

先ず9月には、ずっと挑戦したいと思っていた小樽商科大学大学院の社会人入試に挑戦しました。社会人入試には志望理由書の作成、記述試験（小論文）、面接試験（10分間のプレゼンと質疑応答）の3科目です。正直なところ、試験勉強は想像以上に厳しく、時間をやりくりして学び続ける事に苦勞しましたが、合格通知を受け取った瞬間、これまでの努力が報われたと感じ、心からの達成感を味わう事ができました。

また、11月には東京で行われた剣道七段審査にも挑み、一発合格を果たしました。剣道は私の人生の一部であり、長年の努力の集大成として、この合格は何物にも代えがたい喜びでした。今後は段位に恥じぬよう、日々、精進を続け、生涯剣道を目指します。

これらの挑戦を通じて、年齢を重ねても学び続ける事の大切さや、自分を信じて挑戦する事の意味を深く感じました。そして、この経験を富良野の子供達に還元できるように、また次世代に向けて地域の皆さんに少しでも貢献できるように、努めていきたいと考えています。

最後に、このような挑戦を支えてくれた家族や仲間達、そして地域の皆様に心から感謝申し上げます。5期目の教育委員の委嘱も受け、これからも学び、成長し、地域に還元できるように、精一杯頑張っていく所存です。

文責 教育委員 津山 正樹

「令和6年度印象に残ったこと」

○自然災害が多い年でした。

→次年度は平和に過ごせますように。

○5月新しい猫が我が家に仲間入り。

→サビ猫のチョビちゃん、すごく可愛いです。（個猫情報保護のため写真は掲載致しません）

○パリオリンピック、初老ジャパンが年下だった。

→平均年齢41歳。初老のイメージは60歳くらいかと思い込んでいたのでびっくりでした。

○物価高騰。特にガソリン、食料品。

→物価高騰対策にお米券と牛乳券を頂きましたがあっという間に使ってしまいました。

○ファイターズ2位に大躍進。

→今年こそ日本一！

○新紙幣発行。

→まだ慣れません。すぐお財布から出て行ってしまうから。

令和6年度を振り返ってということで原稿依頼を頂きましたが昨日の晩御飯のメニューもなかなか思い出せない私にとって酷なお題でした。

学生時代どうにか原稿用紙を埋めるため無駄な改行を繰り返していたなんて余計な事まで思い出してしまいました。

最後になりましたが今年度もお世話になりました。

文責 教育委員 渡邊 啓子

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください